

## 平成 27 (2015) 年度 1 学期 国語科における授業実践記録

### Japanese Language Teaching Practice Record for 1<sup>st</sup> Semester, SY2015

国語科

吉田 睦 廣瀬 充 工藤裕子 宇佐見尚子  
杉本紀子 山根正博 西村 諭 浅井悦代

本校国語科では、1 学年～4 学年において、日本の学習指導要領と並行して国際バカロレアの MYP (Middle Years Program) に基づいた指導を行っている。また、1～4 学年に続く 5・6 年次でも MYP とのつながりを意識し、どの学年においても学習目標や評価の観点を明示して授業を行うことで、生徒個人の目標や課題を定めやすくすると同時に、指導者においても学年間や教科間の連携がしやすくなっている。各学年の到達目標や評価の観点を明確にすることは、学校内での連携はもちろん、東京学芸大学附属大泉小学校など他の学校や外部機関と連携した授業の開発にもつながっている。今後はさらに実践を積み重ね、6 年間のカリキュラムとして提示し、目標と評価の連関を検証していくことが課題である。

今年度から MYP に基づく 1 学年～4 学年では、「分析 (Analysing)」・「構成 (Organizing)」・「創作 (Producing Text)」・「言語の使用 (Using Language)」の 4 観点を評価をしているが、5 学年・6 学年でも学習指導要領の観点で評価するとともに、「知識・理解」「分析」「構成」「言語の使用」という 4 観点でも評価をしている。

MYP の観点は、生徒が学習内容をどのように認知しているかを測る上で、非常に有効である。1 学年～4 学年の「創作」の観点は、発表や記述などの表現・アウトプットの単元・活動・課題に用いる。5 学年・6 学年では表現・アウトプットも「知識・理解」「分析」「構成」「言語の使用」の観点に分けて考える。また、5 学年・6 学年は、「知識・理解」を取り出して、一つの観点として設定した。対象の内容の知識量・理解度を測る際に用いる。1 学年から 4 学年では、内容の知識量・理解度は「分析」「構成」「創作」などに自ずと反映されるものとする。

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
I B	-----				知識・理解	
	分析 (Analysing)				分析	
	構成 (Organizing)				構成	
	創作 (Producing Text)				-----	
	言語の使用 (Using Language)				言語の使用	
文科省学習指導要領設定	国語への関心・意欲・態度			関心・意欲・態度		
	話す・聞く能力			話す・聞く能力		
	書く能力			書く能力		
	読む能力			読む能力		
	言語についての知識・理解・技能			知識・理解		

参考資料として、今年度1学期に、1学年から6学年において展開された国語科の授業実践を表に示した。1学年～4学年まではMYPに基づくため、MYPにおいて単元作成に必要とされている、Statement of inquiry (探究テーマ)、Key concept (重要概念)、Global context を記載した。

	学年	科目	単元	Statement of inquiry (探究テーマ)	Key concept (重要概念)	Global context	使用した教材とそのジャンル
MYP 対象学年	1	国語	自立とは何か	多様な意見を出し合うことは、抽象的な概念を理解するのに役立つ。	ものの見方	アイデンティティーと関係性	「風呂場の散髪」(文学的文章)
			仕事の本質とは何か	技術は多様な尺度ではかるべきものである。	発展	科学技術の革新	「ものづくりに生きる」(説明的文章)
			分かりやすく伝えるにはどうすればよいか。	分かりやすい伝え方には型がある。	形式	個人的表現と文化的表現	「私のお気に入り」(スピーチ)
	2	国語	「話し合い」について話し合う	話し合いは考えに質的な変容をもたらす。	コミュニケーション	公平性と発展	「話し合って決めるという幻想」(ブログ)
			逃げることは、ほんとにひきょうか	既存の概念を疑うことで考えが深まる。	アイデンティティー	アイデンティティーと関係性	「逃げることはほんとにひきょうか」(説明的文章)、新聞記事、「日本人はなぜ「逃げる」のが下手なのか？」(記事)
			文学を読む	問いを立てて読むと「読み」が深まる。	ものの見方	個人的表現と文化的表現	「サーカスの馬」(文学的文章)、「サーカスの馬の頃」(資料)
			言葉の役割とは何か	言葉の役割は場が決める。	コミュニケーション	個人的表現と文化的表現	「やさしい日本語」(説明的文章・ポスター)、「吟味された言葉」(随筆)、「言葉のいのち」(随筆・詩)
	3	国語	俳句を読む	型があるからこそ豊かな創造性や多様性が発揮されることがある。	形式	個人的表現と文化的表現	「俳句十五句」
			文学を読む	問いを立てて読むと「読み」が深まる。	ものの見方	個人的表現と文化的表現	「灯台」「握手」(小説)
			言葉によるコミュニケーションとは何か	人は言葉で理解しあうものである。	コミュニケーション	アイデンティティーと関係性	「ケナリも花、サクラも花」(随想)
			世界の文字	文字は人々の社会・歴史と密接に結びついている。	文化	空間的・時間的位置づけ	「文字を見抜く」
	4 (高1)	国語総合 (現代文)	「本」という存在	複数の文章を関連付けると考えが深まる。	つながり	アイデンティティーと関係性	「歩き続けるための読書」(評論)「旅する本」(小説)、新聞記事、ブログ
			言葉とは何か	私たちは言葉によって世界を分節して認識している。	ものの見方	個人的表現と文化的表現	「ものごとば」「ことばとは何か」「語と意味」(評論)
			比較文化論	比較することによってものの本質が見えることがある。	コミュニティー	グローバル化と持続可能性	「水の東西」(評論)
	4 (高1)	国語総合 (古典)	現代語と古語はどう違うか	言語の変化や違いを知ることは価値観や文化の違いを認識することでもある。	文化	空間的・時間的位置づけ	「兄のそら寝」(説話)
プロフェッショナルとは何か			プロフェッショナルを考えることは自己の生き方や価値観とつながっている。	アイデンティティー	アイデンティティーと関係性	「絵仏師良秀」(説話)	
故事成語はどのような背景のもと生まれたのか			言葉の意味はその言葉が生まれた背景と結びついている。	ものの見方	個人的表現と文化的表現	『戦国策』「漁父の利」「狐虎の威を借る」「蛇足」	

MYP 対象外の学年	5 (高2)	現代文B	言葉の意味はどのように生成されるか				物語るという欲望(評論)
			言葉とは人間にとってどのような存在か				アイオワの玉葱(随筆)
			型にはどのような働きがあるだろうか				神話する身体(評論)
	5 (高2)	古典B	どのようなコミュニケーションが古典を通して可能だろうか				歌仙「五月雨を」・『奥の細道』「尾花沢」
			古代の人間はどのように物語を発想し、創造したのだろうか				『大和物語』「嫉捨」・『伊勢物語』「月やあらぬ」
			古代中国の思想は、人間の生き方をどのように価値付け・方向付けているだろうか				『論語』
	6 (高3)	現代文B	人間の視覚には歴史によってどのような変化があるだろうか				絵画の二十世紀(評論)
			明治以降どのように日本語は変化していっただろうか				舞姫(小説)
			言葉は現実をどのように写し取るのだろうか				ことばへの問い(評論)
	6 (高3)	古典B	政治的能力とはどのようなものか				『史記』「四面楚歌」・『大鏡』「花山院の出家」
			政治が人に与える影響とは				「捕蛇者説」(文章)
			人生について考える				『和泉式部日記』「夢よりもはかなき世の中を」
	6 (高3)	(古典A) (古文)	天皇との結婚はどのような意味を持つのだろうか				『源氏物語』「くれまどふ心の闇」
			身分と結婚はどのように関係するの				『源氏物語』「かかやく日の宮」
			語りの中で登場人物はどのように評価されるのだろうか				『大鏡』「時平と道真」
	6 (高3)	(古典A) (漢文)	正しい生き方とはどのようなものか				『史記』「伯夷列伝」
			思想と社会との関わりとは				荘子・韓非子
			処世について考える				『史記』「越王句踐世家」
	6 (高3)	国語表現	社会的課題は自己認識にどのようにつながっているだろうか				調査・論述・ディスカッション
			葛藤をどのように乗り越えるか: アートと落書きはどのように違うか				バンクシーの取り組みについての記事・落書きアートについての論文(教材)、ディベート・立論の論述(活動)
これからの教育はどうあるべきか						調査・インタビュー・論述	
議論可能(debatable)な問いとは何か						調査・ディベート・プレゼンテーション	